

浸水被害低減効果一覧

令和7年9月11日～9月12日 大雨警報（浸水害）

下水道施設名	行政区	排水方式	施設容量（㎡）	貯留量（㎡）	貯留率（％）
① 新羽末広幹線	港北、鶴見	ポンプ排水	410,000	139,480	34%
② 小机千若雨水幹線	緑、神奈川	ポンプ排水	256,000	223,268	87%
③ 新羽調整池	港北	ポンプ排水	89,000	8,000	9%
⑥ 蒔田雨水調整池	南		22,000	3,220	15%
⑦ 江川雨水調整池	都筑		17,000	3,860	23%
⑧ たちばなの丘雨水調整池	旭		7,000	1,280	18%
⑨ 金井雨水調整池	栄		6,000	980	16%
⑩ 長津田地区東雨水調整池	緑		54,000	13,590	25%
⑪ 長津田地区西雨水調整池	緑		19,000	3,250	17%
⑫ 相沢雨水調整池	瀬谷		56,000	7,020	13%
⑬ 北綱島第二雨水幹線	港北		72,000	60,040	83%
⑭ 獅子ヶ谷雨水幹線	鶴見		6,500	5,690	88%
⑮ 戸部雨水幹線	西		11,000	11,000	100%
⑰ 初音雨水幹線	南		7,500	6,720	90%
⑱ 初音雨水支線	南		2,700	2,700	100%
⑲ 下倉田第二幹線	戸塚		8,200	135	2%
⑳ 東希望ヶ丘雨水幹線	旭		40,000	790	2%
㉑ 南希望ヶ丘雨水幹線	旭		8,000	280	4%
㉒ 二俣川1号雨水幹線	旭		13,000	350	3%
合 計			1,104,900	491,653	—

河川施設名	行政区	排水方式	施設容量（㎡）	貯留量（㎡）	貯留率（％）
① 鳥山川遊水地	神奈川	ポンプ排水	44,000	2,299	5%
③ 今井川地下調節池	保土ヶ谷	ポンプ排水	178,000	726	0.4%
⑦ 宮沢遊水地	瀬谷		30,300	14,976	49%
合 計			252,300	18,001	—

総 計			1,357,200	509,654	—
-----	--	--	-----------	---------	---

25mプールで換算： **1,360** 杯分を貯留

※25mプール容量イメージ：幅15m×深さ1m×長さ25m＝375㎡

- 1 ポンプ排水方式の下水道施設については、最下流のポンプ施設による吐出量を集計した値を記載しています。
また、ポンプ排水を行いながら貯留しているため、貯留容量を超える値になる場合があります。
- 2 ポンプ排水方式の河川施設については、対象期間内に排水作業を実施し、複数回貯留した場合は、行を分けて記載します。
その他の排水方式については、ピーク水位の計測結果から算出した貯留量を記載しています。
- 3 ※上記1、2の算出方法による値のため、浸水被害低減量は参考値です。
貯留実績があった施設のみ貯留量を記載しています。